



令和7年3月24日
北海道穂別高等学校
第224号・春号

「穂別高校が伝えること・繋げること」

穂別高等学校長 岩瀬 均



今年の卒業式も在校生たちの会場設営から始まり、当日は真剣な姿勢で臨み、素晴らしい卒業式となりました。3学年揃った最後の卒業式であるということ、教職員はもちろんのこと生徒それぞれが心に留めていたことが、一層輝かしい卒業証書授与式につながったのだと感じました。

また、2年後の閉校に合わせた「閉校記念事業協賛会」の設立のため、学校において PTA と同窓会組織の活性化を図るべく、昨年度より準備委員会を立ち上げ協議を重ねて進めて参りました。次年度当初の協賛会総会で、良きスタートが切れることを切に願っております。

さて、本校の生徒数の動向から過去を振り返ると、コロナ禍であった令和元年度の入学生から一桁人数が続き、閉校の要件を満たしてしまっただけで、令和7年度募集停止から令和8年末度閉校となりました。しかし、小規模校と言えども探究学習を始め、ICT の導入と遠隔授業においては他に劣らずの確かな教育活動を執り行えるのは本校の気概を感じております。

更に、学校生徒数の変遷の一端からですが、昭和40年代は、ひと学年147人と生徒数のピークを迎え、各学年3クラス編成1クラス40人を有に越え、全校生徒も426人と穂別高校の最大生徒数を抱えた時期でもありました。しかしながら、時代の流れによる地域産業の変容と地域・学校事情等の要因が重なりながら、緩やかではあるが昭和58年頃には、ひと学年100人を切り、2クラス編成全校生徒250人を下回る時代になっていきました。

創立から76年の歴史を持つ穂別高校、これまで築き上げられてきた歩みと息吹を次に伝えるために、穂別の小中学校と手を結び、不易流行たるものを吟味しながら繋げていきたいと考えております。

新年度は、2年生1名・3年生10名の体制となりますが、校長をはじめ教職員、学校関係組織がより一層協力体制を高め、生徒の学びと成長を中心に、閉校事業も合わせて進めて参りますので、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

令和6年度 第74回卒業証書授与式

令和7年3月1日(土) 10時から本校体育館に於いて、「令和6年度第74回卒業証書授与式」が挙行されました。卒業生7名に校長先生から卒業証書がひとり一人に手渡されました。今年度は精勤賞1名、栗林学術財団 研練褒賞1名の表彰があり高校生活の頑張りが見られました。式後は保護者を含めた最後のホームルーム、生徒玄関前では全校生徒集合写真撮影や3年間共に学校生活を過ごした仲間や在校生との時間を過ごし卒業生のお見送りを行いました。穂別高校での3年間の経験を活かし、これから様々な場所で活躍してくれることを願っています。3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます!!



令和6年度 精勤賞表彰者

今年度の精勤賞は3年生1名でした。コロナ禍や感染症対策、健康管理に留意しながら高校生活をよくがんばりました、おめでとうございます。在校生の皆さんも先輩のあとに続くよう4月からの新学年でも元気に頑張ってください。

令和6年度〈各種検定・資格試験合格者〉※令和7年3月24日 現在

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| ☆ 実用英語技能検定 (準2級 1名) | ☆ 全商ビジネス文書実務検定 (2級 1名 / 3級 2名) |
| ☆ 日本漢字能力検定 (準2級 1名 / 3級 1名) | ☆ 全商情報処理検定 (3級 1名) |

離任者挨拶

岩瀬 均 校長（石狩管内 北海道札幌厚別高等学校へ）

「あと2年、もう2年穂別高校に居たかった。」閉ざされる2年後の学校とともに、そして10人の3年生と最後1人の卒業生と一緒に同じ時を刻みたかった。これが、正直な気持ちです。今もついつい後ろを眺めてしまいます。それでも強く自分に言い聞かせて、次のステージに歩みを進めてみようと思います。これからも「時間を守る・挨拶をする・よく考える・努力する」、これを大切に人のために尽くしていきます。今まで穂別での3年間、保護者の皆様と地域の方々に大変お世話になりました。とても素敵なまち、穂別にまた遊びに来ます。ありがとうございました。

桧山 和治 事務長（ご勇退）

2年間という短い期間でしたが、お世話になりました。採用以来13校の経験をしましたが、生徒も教職員の方々もベストです。少人数事務室でご不便をかけた部分もありましたが、先生方のご支援で乗り切れたかなと感じています。個性的な事務職員にも支援していただきました。4月からの予定は未定ですが、学校事務関係の仕事に就くかもしれません。またお会いしたときは、よろしくお願いします。

北森 康義 教諭（渡島管内 北海道七飯養護学校へ）

「最も崇高な芸術とは人を幸せにすることだ」(The Noblest Art is that of making others happy) とある映画での大好きなセリフです。穂別高校では4年間、生徒とともに芸術（音楽）を学び、楽しむ貴重な時間を過ごすことができました。音楽の授業はなぜあるのか。悲しいことに高校の世界では少しずつ、芸術科目を減らし、普通教科（受験科目）に重きを置く流れができつつあります。心を豊かに、人生を豊かに、人を幸せにする科目、それを専門とする教員として、穂別での経験を糧に、今後も努力していきます。心にいつも音楽を！4年間ありがとうございました。

飛驒 勇佑 教諭（日高管内 北海道静内高等学校へ）

この度、8年間の勤務を終え、穂別高校から日高管内にある静内高校へ異動することとなりました。穂別高校では小規模ならではの生徒の皆さんとの深い関わりは、私にとって本当にかけがえないものとなりました。また、ここまで保護者の皆様や同僚の方々に支えられ、探究の授業や流送まつりを通じて町民の皆様の多くの支援を頂きました。感謝しております。4月からも未来を担う生徒の育成のため邁進してまいります。最後に、今後の穂別高校の生徒がより良い未来へ歩んでいくことを願って離任の挨拶とします。

4月行事予定

■ 3月24日（月）修了式・離任式 ■ 3月25日（火）～4月7日（月）まで年度末・年度始休業

- 8日（火）着任式・前期始業式・身だしなみ点検（2・3年）
- 9日（水）基礎力診断アンケート
- 10日（木）尿検査（1次）・基礎力診断テスト
- 11日（金）遠隔授業（書道 / 対面授業）
- 16日（水）証明写真撮影・アルバム写真撮影（3年）
- 24日（木）尿検査（2次）・春季交通安全街頭指導・スクールカウンセラー来校日
- 25日（金）生徒総会・壮行会
- 26日（土）授業参観・PTA総会（午前授業）・保護者向け進路講話
奨学金説明会
- 28日（月）振替休日